

会 議 録	
会 議 名	第 1 回真庭市子ども・子育て会議
日 時	令和 5 年 1 1 月 2 2 日 (水) 1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 4 0
場 所	真庭市役所 本庁舎 3 階会議室
出 席 者	<p><出席委員> 1 5 名 池田委員、小畑委員、川崎委員、古谷委員、清水委員、庄司委員、杉本委員、谷口委員、長綱委員、苦田委員、西山委員、額田委員、樋口委員、平田委員、二若委員</p> <p><事務局> 3 名 健康福祉部子育て支援課 行田課長 健康福祉部子育て支援課 広岡専門官 健康福祉部子育て支援課 硯課長補佐</p>
傍 聴 者 数	<傍聴者> 2 名
次 第	<p>1 開 会 2 挨 拶 3 委員委嘱・委員自己紹介 4 子ども・子育て会議について 5 会長及び副会長の選出について 6 報 告 (1) 久世地域における園整備について 7 議 題 (1) 真庭市における幼児教育施設の現状と課題について (2) 「こどもはぐくみ応援プロジェクト」について (3) 「こども計画」の策定について (4) 利用定員の設定について 8 意見交換 9 閉 会</p>

1 開 会

(事務局 行田課長)

定刻となりましたので、ただいまから、第1回真庭市子ども・子育て会議を開催いたします。

それでは、開会にあたり、健康福祉部長の樋口よりご挨拶申し上げます。

2 挨 拶

(健康福祉部 樋口部長)

皆さん、こんばんは。健康福祉部長の樋口と申します。お疲れのところ、ご出席ありがとうございます。改めまして、この子ども・子育て会議ですが、令和5年1月19日に開催して以降、ここまで開催できていない状況でございました。その間の動きですとか、実際に前回議論いただいた内容を確定したものの等も含めまして、今日、報告をさせていただきます。それから、すでにご承知いただいているとは思いますが、今年度、こどもはぐくみ応援プロジェクトということで、全庁を上げてこども真ん中を実現していこうということで、様々な事業等に取り組んでいます。従来から市役所の中で行ってきた事業等も、プロジェクトとしてパッケージとして進めてきています。すぐに効果が出るということではないですが、地道に市民の皆さん、事業所のご協力等もいただきながら進めていくことで、出生数は少ない状況ですが、少しでも環境を整備し、住みやすい真庭市を目指して進めてまいりたいと思います。協議事項等について、皆さんの活発なご議論をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

3 委員委嘱・委員自己紹介

(事務局 行田課長)

それでは次第に従い進めさせていただきます。

直前にはなりましたが、事前に皆様方に本日の会議資料をお配りをさせていただきました。お持ちでない方は、タブレット資料を閲覧いただくこともできますので、どちらかご利用しやすい方をご覧ください。また、お手元の方には、市の子ども・子育て支援事業計画、また、施設整備計画を参考に置かせていただいております。本日の資料としてお持ち帰りください。

本日の会議の終了時刻は、遅くとも8時半までを目安に進めてたいと思いますのでご協力のほど、よろしくお願い致します。また、本日はリモートで長綱

委員にご参加をいただいております。長綱さんにも発言の内容が聞こえるようにするため、マイクのボタンを押して発言をお願いします。

では、次第3の委員の委嘱に進みます。

2ページ目の名簿の中で、代表して池田委員に委嘱状をお渡ししたいと思っておりますので、前の方をお願いします。

～ 委嘱状を健康福祉部長から（委員を代表して）池田委員へ ～

（事務局 行田課長）

ありがとうございました。その他の皆様には、時間の都合により、席上に委嘱状を置かせていただいておりますので、大変失礼かと存じますがご了承いただきますようお願いいたします。

長綱様には、後日送付させていただきますので、よろしくようお願いいたします。

この度、委員の巻き替えの時期になりまして、ほとんどの方が、新しいメンバーですので、2ページの名簿の順に簡単に自己紹介をお願いできればと思います。池田委員からよろしくようお願いいたします。

～ 各自己紹介 ～

4 子ども・子育て会議について

（事務局 行田課長）

次第の4番目に移ります。

改めて、子ども・子育て会議について、会議の役割や内容を皆さんに知っていただくため、事務局から説明をさせていただきます。

～（事務局 硯課長補佐） 資料説明【資料2】～

（事務局 行田課長）

ここまでの内容で、何か質問がありますでしょうか。委員の皆様にはご自由にご発言等をいただき、それらを市の施策に生かしていきたいと考えております。最終的に、決定するのは市ですので、忌憚のないご意見をいただければと思います。委員の任期は、途中で退任された場合は、残りの任期期間が、後任の方の任期となる形ですのでよろしくお願いいたします。

～質疑なし～

～（事務局 硯課長補佐） 資料説明【資料 3、4】～

（事務局 行田課長）

事務局から説明をさせていただきました。本日、委員全員のご出席をいただいております。先ほど、資料 3 で会議の条例を見ていただきましたが、過半数以上の出席をいただいておりますので、本日の会が成立しておりますことをご報告いたします。

また、委員の任期については、2 年ではありますが、今年度のスタートは開催が大幅にずれ込みましたので、便宜上来年度末までの任期ということで、ご理解をお願いいたします。

何かご質問がございますでしょうか。

～質疑なし～

5 会長及び副会長の選出について

（事務局 行田課長）

次に次第の 5 番です。

会長及び副会長の選出については、会議規則で互選となっておりますが、いかがいたしましょうか。

（清水委員）

事務局で案があればご提示いただければと思いますが、いかがでしょうか。

（事務局 行田課長）

今のご発言について、皆様いかがでしょうか。よろしければ、事務局の案をお伝えしますが、よろしいでしょうか。

～委員から賛同の声多数～

では、事務局案ですが、会長には名簿の 2 番目、岡山県立大学の小畑千晴委員、副会長には、名簿の 7 番目、真庭市愛育委員会会長の杉本喜美恵委員に、お願いできればと思いますがいかがでしょうか。

～「異議なし」～

（事務局 行田課長）

それでは、小畑委員、杉本委員、お手数ですが、会長、副会長の席にお移りください。

(事務局 行田課長)

では、代表して、小畑会長から一言ご挨拶をお願いします。

(小畑会長)

改めまして、今回、会長の任務を任せいただくことになりました岡山県立大学の小畑でございます。初めてですので、わからないことがほとんどだと思っておりますので、いろんなこと教えていただきながら、進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

6 報 告

(1) 久世地域における園整備について

(事務局 行田課長)

では、次第 6 番目の報告に移ります。

「久世地域における園整備」について、事務局から説明をいたします。

～ (事務局 硯課長補佐) 資料説明【資料 5】～

(事務局 行田課長)

9 ページの方向性を見いだすにあたり、特に 4 年度に、委員の皆様にごこの結論を出す手前の様々のご意見をいただく場を設けさせていただきました。7 ページには、4 年度の会議開催状況を掲載しておりますが、第 4 回を 1 月に開催し、ここまでの内容を事務局で引き取り、方向性を検討してきましたが、結論を出すために、市としても少し時間をかけてやってきたということで、やっと、この時期に、会議を開催させていただき、皆様へのご報告となっております。

この間、市としては丁寧に進めてきたつもりですが、少し時間がかかってしまった中で、委員の交代も含め、少しスケジュールがずれ込んでしまいました。これまでご議論いただいたことを参考に、方向性を見いだしております。皆様に細かく経緯がわかっていたらいいところもあるかと思いますが、ご報告とさせていただきます。

7 議 題

(事務局 行田課長)

では、次に 7 番目の議題に移ります。

ここからの進行は 会議条例に従い会長により進行をお願いいたします。

(小畑会長)

では、議題の1番目「真庭市における幼児教育施設の現状と課題について」説明をお願いします。

(1) 真庭市における幼児教育施設の現状と課題について

～(事務局 視課長補佐) 資料説明【資料6】～

(小畑会長)

感じられるところあれば、皆さんでコミュニケーション取っていただけたら嬉しいです。

説明のあったように、全体としての人口が減っている中で、0から5歳児の保育のニーズが、地域によっては定員を上回っている。そうした保育環境にあるということは、改善が求められるということですが、これについて、お感じになったこととか、そういうことについてお聞きできればと思いますが、いかがでしょうか。

このデータから感じたこととか、あともう少し聞きたいということがあればご意見をいただきたいですが、皆さんいかがでしょうか。

今日、特に、お父様もいらっしゃるので、そういう中で、また感じたことをお聞かせいただけたらと思いますが。

(池田委員)

自分の子どもは、データにあるギリギリの平成28年に入園しましたが、それから比べて30人ぐらい減っているのと、この前、議員さんが今年200人を切る出生数が確実だと言われていたので、危機感というか、そういうことを感じました。この状況に、何ができるのかよくわかりませんが、1つ将来的なイメージで言うと、北房こども園はすごくうまく進められたなあ思っていて、小学校とこども園を併設させてっていうのは近未来的というか、そういうのを作っていくのが今後の課題になるのかなと思います。

(苦田委員)

事前にいただいた資料を私なりに色々チェックしました。人口推移の計画と人口推移の実績ですが、資料6の平成28年から令和2年までが同じ数字なんですけど、これの意味をお尋ねしたいです。あと、利用者のパーセンテージを出して欲しいと思います。数字を見て分かりますが、先ほど言われたように共

働きの家庭が多く、核家族になっているので、今は保育園、こども園に預けられている人が多いと思います。数字からしても、心してかからないと大変なことになるんじゃないかなと思うわけです。先程定員オーバーというところがありました。定員オーバーというのはどういう意味なのか、オーバーはどのようにカバーされているのでしょうか。

(小畑会長)

しっかり準備して今日の会議に臨んでいただいている、すごく心強く、今感じたところですが、ご質問の後半の方は、定員オーバーの件で、前半の方はデータに関することでしたが、この辺り、いかがでしょうか。

(事務局 硯課長補佐)

データの計画値については、整備計画や事業計画が令和2年から6年までのため、令和2年までは、実績値がもうこの時点ではっきりしておりましたので、同数ということで分かりづらかったと思います。令和2年度までが同数で間違いございません。平成28年から令和2年度まで実績値で、推計しているのが令和2年からということでご理解いただきたいと思います。

(苦田委員)

表現の仕方とは思いますが、実績は実績なんです。個人的には人口推移と一緒にいうのはおかしいので、表現を変えていただくか、無しにさせていただいて説明していただいた方が受け取る側にとっては分かりやすいかと思います。

(事務局 行田課長)

ありがとうございます。ここで見ていただきたかったのは、28年あたりからの園の利用実績と、実際の子どもの数を比較していただきたかったということです。ご意見については、今後のこととして参考にさせていただいて、資料の表現は今後は工夫をしたいと思います。

定員のオーバーについては、制度上、一定のオーバーを許容範囲が、ルールで認められています。常態化するのは良くないですが、現場の保育士の数を調整し、許容の範囲内で運用しているのが実態です。

先ほど、今年の出生数が200人を切るという発言があったのは、微妙なところですが、妊娠届からすると200をちょっと超えるぐらいで推移してる状況です。市全体で昨年が220ですが、やはり、全体としては出生数が下がっている状況です。

(小畑会長)

数値的には非常に厳しい状況だと思いますが、先ほどの定員オーバーの件ですが、やはり現場の保育士さんにかなり負担があることが推測できると思いますので、この辺りも改善が必要かなという風に保育士を養成している立場としてはすごく感じたところです。他にいかがでしょうか。

(古谷委員)

施設の建築年数がかかなり経過しているようですが、耐震とかも気になりますし、市として、建築の経過年数、建て替え基準みたいな決まりとかがあるんでしょうか。

(事務局 行田課長)

現在、経過年数に応じて建て替えるといったような具体的な決まりは持っていません。そういったことも含めまして、この後出てきますが今後に向けて、こども計画といったものを策定をしていくことになります。そういった中で、こうしたことも議論できればという風に思っております。また、今年度メンテナンスに関する調査をしております。こうした専門家から見た指標とかも活用しながら財政的なことも考慮して、どういった形で更新をしていくのか、経過年数のこともあるかと思えます。方向性や結論が出にくい分野だとは思っていますが、今後、またこういった場でも少し議論をいただけるような機会を設けさせていただけたらと思えます。

(小畑会長)

では、時間の関係もありますので、議題の2番目に移りたいと思います。こどもはぐくみ応援プロジェクトについて、事務局からお願いします。

(2)「こどもはぐくみ応援プロジェクト」について

～(事務局 広岡専門官) 資料説明【資料7、8】～

(小畑会長)

これに関しては、本当に本気でこの取り組みを進めていくんだという強い意思を、私も大学から見ても感じたところですが、このサポーター制度は、今のところどれくらいの状況でしょうか。

(事務局 広岡専門官)

元々このサポーターになるというのは、特に申し込みがいるとか市役所に連絡をしないと成れないというものではありません。サポーターの方に市の方からプレートをお作りしてお渡ししようと思っております、そのプレートが必要な方は申し込みをしてくださいというような形です。今まだ3件ぐらいですが、今後は企業に対し、個別に訪問するなどしようと思っております。

(小畑会長)

たくさんの企業があるかと思しますので、ぜひ1つでも多く参加してほしいですね。この件に関して、早速サポーターに手をあげられたという古谷さんいかがでしょう。

(古谷委員)

コロナの時に、子どもたちが遊びに行けなくなり、公園でもその当時は、触ったら感染するかもというような風潮があったので、自宅に庭とかで遊べたらと遊び場を設置したら、子どもたちがものすごく集まってワイワイできたので、それがまあ良かったかなと思いました。ですので、子どもたちの繋がりのきっかけの場になったらということで、今回、申請をしました。地域ごとに子どもたちが集まるれる交流する場があったら、コミュニケーションが増えたり、助け合いに繋がればなと思ってさせていただきました。

企業で、SDGs みたいな感じに近いかなと思いますが、何をしたらいいか明確にたぶん出せないから、少し登録しづらいのかもしれない。些細なことでもいいので、例えばこういった取り組みなどというものが見えれば、もう少し登録とかも増えのではないかと思います。

(事務局 広岡専門官)

確かに、何をすればいいかというところで、分かりづらいところがあるかと思えます。タブレットの27ページの真ん中辺りに、例えば、こどもまんなかアクションとはというところがあると思うんですが、これは本当に優しい気持ちで子育てを応援しましょうというところですので、こうでなければならぬというようなことは実際はありません。ここに書いてありますように、例えば飲食店であれば、取り皿を子供用のものを置いていただくとか、例えばキッズコーナーを設置していただくとか、snsの投稿でお母さん方が喜ばれたのが載ってたんですけど、「子どもさんが、今日は騒いでも大丈夫ですよ、片付けはスタッフがいたします、安心して今日は、飲食ください」というような張り紙があるお店があったとか。例えば、社員さんの男性の育児休業の取得を何パ

ーセントにあげますというような、できる取り組みで結構なんですけど、そういった取り組みを申請してくださったところの取組をホームページとか、チラシなどに掲載していきながら、周知とか理解促進に努めたいと思っています。

(小畑会長)

こういう取り組み、非常に素晴らしいと思いますが、いつも思うんですが、看板だけにじゃなくて、ゆっくり、そういう中身ですよ。今回の取り組みを機に、そういう機運がさらに一層醸成されるということが、目指してるところだと思いますので、1つでも多く参加していただけるといいなと思います。

では、時間もありますので、3番目の議題に移ります。

こども計画の策定について、事務局からお願いします。

(3)「こども計画」の策定について

～(事務局 広岡専門官) 資料説明【資料9】～

(小畑会長)

こども計画の策定について、今後のスケジュールを含めて説明いただきました。非常に重い、大事なテーマだと思いますがアンケートの内容は次回ですか。

(事務局 広岡専門官)

6年度の当初予算で要求が通れば、委託業務として入札によって業者を選定していきますので、最短でも、契約は4月以降になります。業者と内容を詰めながら、アンケート内容をこの計画に沿ったものにしていかなければいけませんので、今は他の例とかも参考にしながら考えているところですが、最短で5月以降にアンケート内容が示せるようになると思います。

(小畑会長)

まだまだこれからということですが、これに関して、いかがでしょうか。まだまだ、未確定な部分がたくさんあるようですので、現時点でのご意見があれば、教えていただくとありがたいですが。

長綱さん、今までのところで何かありますでしょうか。

(長綱委員)

この件でなく、その他で気になったのが、こどもはぐくみ応援プロジェクトですが、プロジェクトで、安心して遊べる場の整備促進のことが書いてあり、

蒜山のB&Gに滑り台と、ブランコがあったんですが、撤去されて新しい「風のパレット」という施設ができて、滑り台とかブランコは戻ってくるのかお尋ねしたいです。

(事務局 行田課長)

滑り台などについて、個別に、振興局等にも確認しまして回答させていただきます。今回のプロジェクトは、全庁を上げて取り組んでおり、それぞれの部署が子どもを育むという視点に立って、自分たちの部署でどういったことができるかということとをそれぞれに考えていこうということで、市役所内でもそういう機運を高めていこうと努めているところです。

この件は蒜山の案件ですが、話をつなげていきたいと思いますので、そういったご意見もいただけたらと思います。また個別に回答させていただきます。

(小畑会長)

では、他になければ最後の議題に移ります。

4番目の利用定員の設定について、事務局からお願いいたします。

(4) 利用定員の設定について

～(事務局 硯課長補佐) 資料説明【資料10】～

(小畑会長)

利用の設定というか、40名分増えるということですが、これも次回の協議で、今回はご紹介ということですが、いかがでしょうか。

～意見なし～

8 意見交換

(小畑会長)

以上、議題4つを終わりましたが、せっかくですし、最後に何かご意見がいただければと思います。

(清水委員)

子ども・子育て会議で出てくるのは、幼児のことが割とトピックスとして多いなと思います。

小学校に入ると、途端に、児童という言葉がほとんど出てないと感じています。保育園とかも結構整備されて、綺麗になったりはしていますが、各児童ク

ラブの役員と話をする中で、クラブによっては、老朽化のことを聞きます。ただ、それをきちんと市へ伝えているかということ、伝え先がよくわからないとか、伝え方がよくわからないということも聞いています。ですので、今度、そういうのをまとめて、きちんと写真に撮ったりして提出しませんかという話を進めています。幼児期よりもう1つ上の保育環境にも少し目を向けていただく機会があってもいいかなと思っています。連絡協議会の入っていないクラブもあって、状況が全て把握はできてるわけではなく、綺麗になっているクラブもあると聞いています。ちょっとした修繕が必要なところを、お伝えできるチャンスがいただけたらありがたいと思っています。以上です。

(小畑会長)

今回の特別に0から5歳とか、中学校に入る前の子供だけをターゲットにしているわけではないですので、幅広く、真庭市の若者という言葉もありましたが、子どもをどう捉えるかということもまだ明確になっていないということもあります。もちろん、学生・児童をターゲットにしたサポートっていうのも、必要だと思いますので、また、今後の会議でいろいろご意見いただけたら、ありがたいなと思います。

(庄司委員)

去年からプロジェクトの内容を見ていますが、真庭で子どもを育てようとする時に、産前産後に子どもを預けるのがなかなか難しいと、うちに遊びに来られるお母さんから割と声があるんですけど、保育士さんの関係もあって、なかなか難しいんだというのがあるんですけど、今後、どのように考えているのかなと、それから、つどいの広場が1つ新しく開設と書いてあるんですけど、そのこともちょっと教えていただけたらと思います。

(小畑会長)

2つのご質問ですが、今答えられる範囲でも、また次回ということでもいいとは思いますが、いかがでしょうか。

(事務局 行田課長)

21ページにプロジェクトの具体内容を記載しており、13番につどいの広場の運営、1箇所新設というところですが、勝山地区につどいの広場がありませんでしたが、今年度、中央図書館の横のもくせいで、場を設けさせていただくことができました。市内ではこれで6カ所目ということで4月10日から開設できています。現在、週3回ですが、来年度に向けて週5回にするというよ

うなことも計画して来年度の当初予算に挙げていこうと協議しております。

産前産後の預かりですが、本当に課題だと思っています。サポートあいの方で助けていただいている部分も大きいと認識しています。園では、基本的に産前産後に関わらず、保育人材の不足によって一時預かりが大きな課題だと思っています。来年に向けてプロジェクトのブラッシュアップや、新たな事業などのアイデア出しをしながら充実させていきたいと思っています。

(小畑会長)

予定の時間を経過しましたので、ご意見のある方もいらっしまったと思いますが、今日はここで終わらせていただきたいと思います。

今回は、委員の巻き替えと、1回目の会議ということで、説明のボリュームが多い会になってしまったので、もう少し皆さん方からのご意見いただけるような形で、次回以降、工夫したいと思っています。

長時間にわたりまして、本当に、ありがとうございました。

9 閉 会

(杉本副会長)

皆さん、今日はお仕事が終わっての会議で大変だったと思いますが、久しぶりの子ども・子育て会議が開催でき、今日いただいた議題の中で、皆さんからいろいろとご意見をいただきありがとうございます。

真庭市の出生数は、令和3年は300人ほどと記憶していますが、令和4年は220人で、本当にこの数字を見てびっくりしているところです。出生に関しては、結婚との関係もありますが、こどもは大きな宝ですので、保育園の整備とか色々限界はありますが、一生懸命地域の方とも共有をしていながら、この会を通じて色々意見を出し合いながら、より良い会議にしていきたいと思っています。それでは、大変遅くなりましたが、本日はありがとうございました。